



1年 T・H 『これはのみのぴこ』 E た 読んだ人:お母さん 聞いた人:H・N

H:のみのぴこのはずがのみのぷちだったからおもしろかった。
お母さん:のみのぴこは同じ内容で一行ずつ文章が増えるので、弟のなつきには少し退屈だったようですが、Hは一文一文を理解して聞いていました。落ちがまた「のみ」にもどるところは二人で笑いました。

1年 H・A 『おたからパン』 E し 読んだ人:おばあちゃん 聞いた人:A

A:おたからパンをたべてみたいです。
おばあちゃん:おたからはおたからパンが作れるようになったこと、そして食べた人たちの笑い顔、とってもいいお話でした。私もおたからパン食べてみたいです。

2年 B・K 『もののけ姫』 E み 読んだ人:お父さん 聞いた人:K・お父さん・お母さん

K:たたりがみがでてびっくりしました。まだよんでないジブリをよみたいです。
お母さん:DVD をみたことがきっかけでこの絵本を借りてきてくれました。パパが大好きな「もののけ姫」を読んでもらいみんなで笑いながら読書タイムを過ごせました。

2年 K・A 『かわいそうなぞう』 E つ 読んだ人:お父さん 聞いた人:A

A:ぞうはなにもわるいことをしていないのに、なんでころすんだろうとおもいました。3とうのぞうがかわいそくだなと思いました。
お父さん:私達も経験をした事がない戦争をこのように絵本を通して知る事はとても大切だと思いました。戦争はしてはいけない、あってはならないとても恐ろしいことだと子どもたちに伝え継がれていき平和な生活が続いていくことを願うばかりです。

3年 T・R 『いちにちなぞのいきもの』 E ん 読んだ人:お母さん 聞いた人:R

R:なぞのいきものうちうう人はおなかがほそかったです。
お母さん:世界中になぞのいきものがあるんだよって話しながら読みました。動物の血が大好きな生き物がこわいねーと言いながらよみました。

3年 H・Y 『しずくちゃん②しずくの森はおおさわぎ』 E き 読んだ人:Y・お母さん 聞いた人:お母さん

Y:どどろんの家がこわされているところがおもしろかったです。
お母さん:生まれたての雨つぶのようせい“しずくちゃん”たくさんの仲間と毎日楽しく過ごしているのが、まるでYみたいでほほえましいです。

4年 O・S 『ようかいおふろ』 八女市立図書館 読んだ人:S 聞いた人:お母さん・妹

S:ようかいのおふろでにぎやかなかんじでした。ようかいたちがあらいかたなど、いろいろな事をぜんちゃんにおしえていました。とても楽しそうでした。
お母さん:ようかいが出るのでこわいお話かな?と聞いていたらかわいいほんわかし絵本でした。こんなようかいなら会いたいなと思いました。

4年 K・A 『みえるとかみえないとか』 E よ 読んだ人:A 聞いた人:お母さん

A:自分とちがってもわかりあえたらともだちになれると思いました。
お母さん:宇宙人との身体の違いについて話は進みますがこの違いは生活するうえでも他人と自分の違いにも置き換えられ違うことを否定するのではなく、受け入れていければいいなあと思わせられる本でした。

5年 T・S 『はたらく細胞』 E し 読んだ人:S 聞いた人:お母さん

S:私の知らない細菌ウィルスがいっぱい出てきたのでびっくりしました。
一個一個のウィルス、菌の名前やすることなどをわかりやすく書かれていました。実際の写真があるとこんな感じなんだなあと思いました。
お母さん:アニメ「はたらく細胞」の内容に沿って、ウィルスや細菌の仕組みや細胞の働きをわかりやすく解説してあり、子どもと楽しく学ぶことができて良かったです。

5年 M・N 『すいかのたね』 E さ 読んだ人:N 聞いた人:お姉さん

N:ばばあちゃんがすいかのたねをうめて、ねこやうさぎへとつながっていくのがおもしろかったです。すいかのたねがつまらないたねといわれてかわいそうでした。
お姉さん:私もすいかのたねがつまらないたねと言われていたのが、とてもかいそくだと思いました。でも、一瞬でたねから芽が出て実がなったのでたねの怒りのパワーはとてもすごいと思いました。

6年 T・S 『友達をやめた二人』 913イ 読んだ人:S 聞いた人:お母さん

S:最初は互いに親友のように思っていたけど、時を重ねるにつれ親友の結衣に疑問をいだくようになり二人は友達をやめてしまった。でも、二人が大好きだったおばあちゃんが死ぬ前にくれた一言で二人の絆がもどり最後には親友以上の関係になっていたの、とてもいい話だなあと思いました。
お母さん:最初の互いのすれ違いがおきて二人は友達をやめてしまったけど、物語が進むにつれ仲良くなっていったのでよかった。

6年 T・T 『子そだてゆうれい』 自宅の本 読んだ人:お兄ちゃん 聞いた人:T

T:最初は怖い幽霊だと思ったけど子どもが捨てられているのをみつけてごはんを食べさせていたことがとても感動しました。
お母さん:このお話は最初怖いように思いましたが、最後には幽霊の子どもを思う気持ちにほっこりしました。

